第１編　現代に生きる自己の課題

第１章　人間とは何か

◆ *INTRODUCTION*　人間性の特質

【人間性の特質】

○人間と動物の違い―発達した頭脳をもち，それによる理性の働きによって，高度な文明を築く。

ホモ - サピエンス（知性人・叡智人）　ホモ - ファーベル（工作人）
アニマル - シンボリクム（象徴的動物）　ホモ - ルーデンス（遊戯人）
ホモ - ロークエンス（ことばを操る動物）　ホモ - ポリティクス（政治人）
ホモ - エコノミクス（経済人）

【人間―複雑で多面的な存在】

○非合理的な人間存在― 19 世紀後半以降，理性万能の考え方に対する懐疑
ドストエフスキー：理性だけではかることのできない人間存在の複雑さ

○中間者としての人間―理性をもつがゆえの尊厳と，時に罪を犯す弱さや醜さの両方をもつ存在

↓

パスカル：「考える葦」　天使でも獣でもない存在　虚無と全体の中間者

【人間性の特質】

❶人種や民族を超えて，人間を人間たらしめている尊さのことを何というか。　❶人間の尊厳

❷人間をどのようにとらえているかという，人間そのものの見方を何というか。　❷人間観

❸人間が他の動物とは異なり，火をあやつり，言葉を使い，道具を発明して文化をつくり上げてきたのは，人間に特有の何の働きによるか。　❸理性（知性）

❹動物が，教育や経験によらずに生まれながらにもっている行動能力，適応能力を何というか。
❺自己の利益や快楽の追求を最優先する主義・立場を何というか。
❻人間の定義の一つで，学問や文化をつくり上げてきた知性の側面を強調したものを何というか。
❼人間を，知性の側面を強調して，ホモ - サピエンスと命名したスウェーデンの生物学者はだれか。
❽人間の定義の一つで，道具をつくり，道具を使用してものをつくり出す特性を強調したものを何というか。
❾人間を，道具使用や工作の側面を強調して，ホモ - ファーベルと命名したフランスの哲学者はだれか。
❿人間の定義として，遊びに注目し，遊ぶことから文化が形成されることを強調したものを何というか。
⓫人間を，遊びから文化形成をした側面を強調してホモ - ルーデンスと命名したオランダの歴史学者はだれか。
⓬人間の定義として，超越的存在への信仰心や宗教活動，死や来世について思索する側面を強調したものは何か。
⓭人間の定義として，社会を形成したり，他者と共存する側面を強調したアリストテレスの言葉は何か。
⓮人間の定義として，アリストテレスのことばに基づき，政治を強調したものは何か。
⓯人間の定義として，言語や記号などに意味をもたせ，それらを用いることを強調したものは何か。
⓰人間をことばやシンボルをあやつる動物と定義したドイツの哲学者はだれか。
⓱人間の定義として，ラテン語の「話す」に由来し，ことばを操ることを強調したものは何か。
⓲人間の定義として，自己の利益追求を経済活動により実現しようとする側面を強調したものは何か。
⓳人間の定義として，オランダの教育学者ランゲフェルトにより教育を強調して名付けられたものは何か。
⓴個人が他の人々とかかわりあい，相互に影響しあいな

❹本能
❺エゴイズム（利己主義）
❻ホモ - サピエンス（知性人）
❼リンネ（1707 ～ 78）
❽ホモ - ファーベル（工作人）
❾ベルクソン（1859 ～ 1941）
❿ホモ - ルーデンス（遊戯人）
⓫ホイジンガ（1872 ～ 1945）
⓬ホモ - レリギオスス（宗教人）
⓭「人間はポリス（社会）的動物である」
⓮ホモ - ポリティクス（政治人）
⓯アニマル - シンボリクム
⓰カッシーラー（1874 ～ 1945）
⓱ホモ - ロークエンス（言葉を操る人）
⓲ホモ - エコノミクス（経済人）
⓳教育されなければならない動物
⓴社会化

がら，社会に適応するプロセスを何というか。

㉑個人が自己の能力・適性に即して，周囲に対して行う積極的・能動的な働きを何というか。

㉑個性化

【人間と文化】

❶言語・習慣・生活様式・学問・宗教・芸術など人間がつくり上げ，社会全体で共有され，伝達されるものを何というか。

❶文化

❷文化とほぼ同義であるが，技術の進歩･生産力の増大･社会制度・教育の普及などにより物質的・精神的生活水準が向上した状態を何というか。

❷文明

❸気候・地形など，そこに住む人間の生活様式や習慣に影響を与える自然環境を何というか。

❸風土

❹風土と人間との一体的なかかわりのなかで，文化や生活様式の形成を論じた和辻哲郎の著書は何か。

❹『風土』

❺『風土』のなかで論じられた東アジア・東南アジアにみられる自然に対して受容的・忍従的な文化を形成させる風土を何というか。

❺モンスーン型

❻『風土』のなかで論じられた西アジア・アフリカにみられる自然や他の部族に対して対抗的・攻撃的な文化や一神教を形成させる風土を何というか。

❻砂漠型

❼『風土』のなかで論じられたヨーロッパにみられる自然の規則性に合わせて農耕・牧畜を営み，合理的な思考を形成させる風土を何というか。

❼牧場型

❽キリスト教に基づく西洋文化に対して，共同体の習俗や規範を重んじる日本文化を論じた著書を何というか。

❽『菊と刀』（『菊と刀―日本文化の型』）

❾『菊と刀』を著し，日本文化を研究したアメリカの女流文化人類学者はだれか。

❾ルース＝ベネディクト（1887 ～ 1948）

❿ベネディクトは『菊と刀』のなかで，神の教えに背くことを判断基準とする西洋文化を何とよんだか。

❿「罪の文化」

⓫ベネディクトは『菊と刀』のなかで，集団の和や他者との共存を重んじる日本文化を何とよんだか。

⓫「恥の文化」

⓬他者との一体感を求め，好意に依存する傾向の強い日

⓬甘えの構造（甘

本人の性格を心理学者の土居健郎は何とよんだか。

えの文化）

⓭集団のなかでの上下関係が重視され，それにより秩序が保たれている日本社会構造の特色を文化人類学者の中根千枝は何とよんだか。

⓭タテ社会

⓮自分の属する親しい集団と自分とは直接関係のない人々を区別し，外の人々に対し排他的・閉鎖的な日本人の傾向を示す語を何というか。

⓮ウチとソト

⓯親しい人に対する行為や言動と，無関係な人や一般の人に対する表面的・形式的な行為と言動を使い分ける日本人の傾向を示す語を何というか。

⓯ホンネとタテマエ

第２章　青年期の課題と自己形成

◆ *INTRODUCTION*　① 青年期の意義

【第二の誕生】

○青年期―自己を見つめる時期　人格形成　人生観・世界観の形成　自己実現
ルソー：第二の誕生（『エミール』）

【自我のめざめ】

○青年期―第二次性徴→身体の成長→精神の発達
自我のめざめ，第二の誕生，心理的離乳，第二反抗期

【自我の形成と他者】

○他者との出会い：他者との出会い→自我の形成→人格形成
G.H. ミード：主我と客我　一般化された他者
クーリー：鏡映的自己
ピアジェ：脱中心化
○子どもでもおとなでもない精神的時期
レヴィン：マージナル - マン（境界人）
ホリングワース：心理的離乳

【第二の誕生】

❶身体が著しく成長するとともに，精神面でも親からの自立や社会批判など様々な変化がみられる 12 ～ 15 歳から 22 ～ 25 歳頃までの時期を何というか。

❶青年期

❷青年期において，身体が急激に成長し，性的な特徴が著しくなることを何というか。

❷第二次性徴

❸青年期とほぼ同義であるが，第二次性徴とそれにともなう性の目覚めを強調した時期を何というか。

❸思春期

❹青年が社会人として成長するまでの 22，23 歳から 30 歳ぐらいまでの時期を何というか。

❹プレ成人期（前成人期）

❺小学校低学年から高学年にかけて，性別や年齢が雑多な集団で遊び仲間を形成する時期を何というか。

❺ギャング - エイジ

❻子どもでもおとなでもなく，その両方の世界に所属していることから，社会のなかで極めて不明確な位置にある青年期の青年を何というか。
❻マージナル - マン（境界人）

❼青年の特色をマージナル - マンと表したドイツ出身のアメリカの心理学者はだれか。
❼レヴィン（1890 ～ 1947）

❽ある社会において，個人が誕生して成長する段階を移行する際に，それを位置づける儀式を何というか。
❽イニシエーション（通過儀礼）

❾青年の成長過程について「世界のすべてのものと無縁でなくなる」と表現したフランスの思想家はだれか。
❾ルソー（1712 ～ 78）

❿人生における青年期の意義を説き，生まれながらの善性を原理とするルソーの物語風教育論とは何か。
❿『エミール』

⓫ルソーが『エミール』のなかで記した語で，身体的誕生に対して青年期の精神的な成長を示す語は何か。
⓫第二の誕生

【自我のめざめ】

❶青年期において，他人とは異なる自分の存在を意識し，自己の人生の意味を考えはじめることを何というか。
❶自我のめざめ

❷青年が新しい自己を確立するために，おとなの保護や監督のもとから離脱していく過程を何というか。
❷心理的離乳

❸青年期における親の保護から自立しようとする傾向を心理的離乳とよんだアメリカの心理学者はだれか。
❸ホリングワース（1886 ～ 1939）

❹子どもが成長する過程において親や周囲のおとなたちに反抗的になる時期を何というか。
❹第二反抗期

❺不安や恐怖などの感情により無意識のうちに抑圧された心理の集合を何というか。
❺コンプレックス

❻自分の身体・能力などが他人と比べて劣っていたり，他人から嫌われていると思うことを何というか。
❻劣等感（劣等コンプレックス）

❼自分があること，ある分野において他人と比べて優れていると思い，自己満足することを何というか。
❼優越感

❽成人期の開始時期，青年の社会的自立が遅れている状況を何というか。
❽青年期の延長

【自我の形成と他者】

❶人間を他者・社会との関わりをもつ存在ととらえ，他者・社会が自己に期待する役割を自覚することによって自我が形成されるとしたアメリカの社会心理学者とは誰か。

❶ G. H. ミード（1863 ～ 1931）

❷ G.H. ミードは，自分の視点から見た自己と他者の視点から見た自己を，それぞれ何とよんだか。

❷主我と客我

❸ G.H. ミードは，身近な個別的存在だけではなく，さまざまな立場の他者が統合された社会的他者のことを何とよんだか。

❸一般化された他者

❹他者とのコミュニケーションを通じて，自分が他者からどのように見られているかという観点から自己を捉えたアメリカの社会学者は誰か。

❹クーリー（1864 ～ 1929）

❺クーリーは他者の目に映った自己の姿を通じて形成された自己像をなんとよんだか。

❺鏡映的自己

❻子どもの認識能力を研究し，段階的に発達する過程を論じたスイスの心理学者は誰か。

❻ピアジェ（1896 ～ 1980）

❼自己中心的立場から離れ，他者の視点から客観的・多面的なものの見方を身につける過程をピアジェは何とよんだか。

❼脱中心化

❽今日的な意味での「子ども期」は中世末期から 17 世紀にかけて誕生したとするフランスの歴史学者は誰か。

❽アリエス（1914 ～ 84）

❾南太平洋の諸島を調査し，青年期の特色が生得的なものではないと説いたアメリカの文化人類学者は誰か。

❾ M. ミード（1901 ～ 78）

◆ *INTRODUCTION*　② 自己の理解に向けて（1）

【パーソナリティの形成】

○パーソナリティ：ある人の欲求・行動・思考傾向の総体（能力・性格・気質）
遺伝的要因・後天的要因（環境・教育など）により形成

個性化：自分らしさを形成する過程

社会化：社会他者と生きるための言語や習慣を身につける過程

○パーソナリティの類型論

ユング：内向型・外向型

クレッチマー：細長型（分裂気質）・肥満型（躁鬱気質）・闘士型（てんかん気質）

シュプランガー：理論型・経済型・審美型・社会型・権力型・宗教型

○パーソナリティの特性論

アイゼンク：各人の特性の組合せによりパーソナリティが形成される

ビッグ・ファイブ

【行動の原因とパーソナリティ】

○行動傾向―個人の特性だけでなくその時々の状況にもよる

ミシェル：行動における外的要因の重視

○対応バイアス―行動の原因を，周囲の状況を考慮せずに個人の特性だけで判断する心理的傾向

＊バイアス（判断の偏り）

○社会化と個性化→パーソナリティの形成

○自己理解：理想自己・可能自己・当為自己

自尊感情：自己に対する肯定的な感情

フェスティンガー：社会的比較理論―周囲の人との比較で自分を確認
他者との比較→自尊感情（←自己高揚動機）

【パーソナリティの形成】【行動の原因とパーソナリティ】

❶ある人間の行動や思考の特徴的型，環境や他者に働きかけるときの欲求や行動の統一的型を何というか。	❶性格
❷感情や情緒の特徴的な型のことで，遺伝的要素が強い性質を何というか。	❷気質
❸ある人がもっている身体的・精神的な力で，体力・知力・意志力などの総合的な力を何というか。	❸能力

❹性格・気質・能力など，ある人の全体的・統一的・持続的な特徴を何というか。
❹パーソナリティ

❺パーソナリティとほぼ同義で，ある人が他の人と異なる特徴を強調した用語は何か。
❺個性

❻精神分析学の代表的人物で，精神分析運動の指導者となり，人間の性格を関心の向く方向から大きく二つのタイプに分類した，スイスの精神科医とはだれか。
❻ユング（1875 ～ 1961）

❼繊細な神経をもち，関心が自己の内面に集中するようなタイプの性格をユングは何とよんだか。
❼内向性

❽社交的・行動的で，外部の客観的なものに関心が傾くタイプの性格をユングは何とよんだか。
❽外向性

❾気質が体型に関係しているとして，細長型（分裂気質）・肥満型（躁鬱気質）・闘士型（てんかん気質）に分類したドイツの精神科医はだれか。
❾クレッチマー（1888 ～ 1964）

❿人生は各人が追求する価値により形成されるとして，人生や文化のタイプを６つに分類したドイツの哲学者・心理学者はだれか。
❿シュプランガー（1882 ～ 1963）

⓫シュプランガーが分類した６つのタイプとは何か。
⓫理論型・経済型・審美型・社会型・権力型・宗教型

⓬パーソナリティを類型に分ける理論を何というか。
⓬類型論

⓭類型論に対し，いくつかの特性の組み合わせによってパーソナリティが構成されるという理論を何というか。
⓭特性論

⓮向性や神経症傾向が人の行動傾向を特徴づける特性であるとして，それらの組み合わせによりパーソナリティの差異を考察したイギリスで活躍した心理学者は誰か。
⓮アイゼンク（1916 ～ 97）

⓯神経症傾向・外向性・経験解放性・協調性・誠実性の５要素により性格が形成されるとする特性論とは何か。
⓯ビッグ・ファイブ

⓰アメリカの心理学者で，行動の傾向が個人の特性だけではなく，その時々の状況にもよると説いた人物はだれか。
⓰ミシェル（1930 ～ 2018）

⓱行動の原因を，周囲の状況を考慮せずに個人の特性だけで判断する心理的傾向を何というか。
⓱対応バイアス

⓲他者と自己を比べ，自己の能力の程度や意見の正しさを把握することにより自己認識を正しくするという理論
⓲社会的比較理論

を何というか。
⑲アメリカの心理学者で，社会的比較理論を提唱した人物はだれか。
⑳自己に対する肯定的な感情を何というか。
㉑自尊感情を守り，高めようとすることを何というか。
㉒成功は自分の能力や努力の成果であり，失敗は他者やその他の状況が原因であるというような偏った心の働きを何というか。

⑲フェスティンガー（1919 ～ 89）
⑳自尊感情
㉑自己高揚動機
㉒セルフ・サービング・バイアス

◆ ***INTRODUCTION***　　② **自己の理解に向けて（2）**

【欲求と適応】

○欲求：人間の生命・成長の根源
　一次（生理）的欲求：生命の維持のための欲求
　二次（社会）的欲求：個性の実現・社会的承認を得るための欲求
○欲求階層説：人間の欲求は低次から高次への段階的階層とする
　マズロー：欠乏欲求（生理的・安全・愛情と所属・自尊）と成長欲求（自己実現）
○欲求不適応：欲求不満（フラストレーション）　葛藤（コンフリクト）
○適応：合理的解決・近道反応・防衛機制
○防衛機制―欲求不満に対する意識内部の自己防衛反応　フロイトの説
　抑圧：不快な記憶を忘れようとする。
　合理化：自己の失敗を他者や状況のせいにして心の安定を保つ。
　同一化：自分が憧れている人物の外見や特性と自分を同一化して満足する。
　退行：子どもの頃の心理状態にもどることで，欲求不満を解消する。
　投射：自分を否定する感情を相手に投げかけ，責任を転嫁する。
　反動形成：反対の行動や言動により好ましくない感情を抑える。
　代償（補償）：欲求が満たされない場合に，代替するもので満足する。
　昇華：実現できない欲求をより高度な社会的価値のある行為に置き換える。
○葛藤（コンフリクト）：複数の欲求が自己のなかに共存して選択に悩むこと。
　レヴィンの説：接近－接近型・回避－回避型・接近－回避型